

第6回 R I N K 釧路まちづくり交通戦略会議 意見要旨

■2022年2月下旬から3月上旬に掛けて書面開催。書面にて、各委員から意見をいただいた。

■名 簿：末頁のとおり

■議 事

- (1) 第5回 R I N K 釧路まちづくり交通戦略会議の議事概要
- (2) 釧路都心部まちづくりフォーラム等の開催結果報告
- (3) 交通戦略の各方策の取組について
- (4) 釧路駅周辺の再整備方針について

■議事（1）第5回 R I N K 釧路まちづくり交通戦略会議の議事概要

意見なし。

■議事（2）釧路都心部まちづくりフォーラム等の開催結果報告

（高野進行役）

・フォーカルポイントは、旧来からまちづくりのなかで着目されてきたもので、集団で共有する視点や場を持たせることにより集団を戦略的に強くするというもの。

地域であれば駅や橋などの特徴的な場所で、全く連絡が取れない相手とどこかで待ち合わせる時に互いが思い合う場所が該当する。釧路市の都心部には、そういう場所が現在ないので、これからつくっていくことが重要ということを基調講演の内容とした。

（法政大学 高見委員）

・くしろラボの動きは素晴らしい。公共事業を実施する市側と市民側が良い距離間にある。まちづくりフォーラムに集まった皆さんも非常に前向きな意見が多く、戦略会議をやっているなかでも徐々に鉄道高架の話が浸透しているという実感はある。

ただし、仲間内で盛り上がっているだけで見逃していることはないか、その他大勢の市民がどう感じているのかを気に掛けながら、検討を進めていく必要がある。

（くしろ北大通商店街 佐藤委員）

・蝦名市長の「中心市街地に人通りがないと外部からの店の誘致などが難しい」という話には、なるほどと感じた。また、そのためのアイデアとして、宮田さんが都心部に大学のサテライトを作る、市立病院の機能を一部移転する等の話題が出たことについても、一考に値すると感じた。

（釧路駅前商店会 岡部委員）

・各種まちづくりフォーラムを開催しているが、鉄道高架は、未だ一地域の問題としてしか取り

上げてられていないように感じる。商店街、町内会、学校のまちづくり学習として取り上げ、家庭の中でも話題に上がるよう活動の幅を広げてほしい。

■議事（3）交通戦略の各方策の取組について

（高野進行役）

・都心部におけるグリーンスローモビリティの循環の構想について、かつて無料で運行していた「くるりん」は多くの利用があって、どのような属性の方々が利用していたかを調査することが重要と考える。

（法政大学 高見委員）

・路線バスのWAON決裁について、WAONカードは、コンビニ決済などで利用できる便利なカードなので、良い取り組みと考える。

（くしろ北大通商店街 佐藤委員）

・商店街として沿道アクセススペースに期待するところは大きいので、実証実験等を早期に進めて頂きたい。合わせて、街路空間の利活用についても、若い世代を中心に飲食等なるべく自由な発想で展開できるよう、規制緩和を期待したい。

（釧路駅前商店会 岡部委員）

・冬期の除雪対策を行わなければ、ハード整備やその他検討中の各種取組の効果が半減してしまう。
・北大通の1本東西にも何かしらの賑わい創出の延長線があっても良いと考える。

（釧路市公園緑地課 田中委員）

・冬期におけるウォークブル空間の利活用と利用促進に関するアイデアと議論が活発になされることを期待しています

■議事（4）釧路駅周辺の再整備方針について

（高野進行役）

・フォーカルポイントは概念的なもので、この場所に市民や観光客の方も含めて多くの方が何かを求めて集まってくるときの焦点という風に考えることで発展性がある。
・富良野マルシェは、富良野に遊びに来た方が間違いなくここに買い物や食事をしに来たりする。また、スーパー、子育て施設や市営住宅もあるので、市民の方がたくさん集まる場にもなっており、フォーカルポイント的なものとして良い事例である。

- ・バスターミナルは、人口が減少する中で、スムーズな乗り換えは必要な一方で、大きな面積のターミナルをつくる必要はない。冬のことを考えると屋外の広大な道路空間を維持管理するのは大変である。冬には待合室に快適に待てる工夫ができるとよい。
- ・建築の分野では公共空間や拠り所のつくり方が大きなポイントになっていて、様々な工夫がなされている。一連の流れのなかで、居心地の良い集まる場所をつくり、その周辺に交差する機能をどう配置できるのかを検討できるとよい。
- ・公共施設では、教育文化や交流機能はもちろんのこと、それらと合わせて、日頃コミュニティ活動が行われるような機能、子育て機能が必要かもしれない。

(法政大学 高見委員)

- ・釧路駅を中心として、広く土地利用を図ることは、利活用の自由度が上がり、まとまりのある集客施設も誘致しやすい。できるだけ1つ場所に機能を集積させて、人を呼ぶ、そして外に波及させていくということができると良い。
- 一方で、広く土地利用を図るということは、鉄道用地だけでなく、民間用地も事業範囲になることが想定されるため、事業の実施をどのように担保するのが課題となる。
- ・土地利用の比較パターンを作って、デベロッパーや事業者に意見を伺うということは意義がある。
- ・大分駅前の開発では、大分駅のすぐ傍に、色々な省庁を一つに集約した公共施設を整備した。施設に複合性を持たせることが重要だと考えている。

(くしろ北大通商店街 佐藤委員)

- ・具体的な3D 図面が出てくると大変イメージがしやすくて分かりやすい。駅前広場が屋外なのか、屋根付きなのかによって使い方も大きく変わらと思う。個人的には屋根付きだと天候・季節を問わずイベント等が出来そうで良いと感じている。

(釧路駅前商店会 岡部委員)

- ・ひがし北海道の玄関口であり、空路、陸路、鉄路がある。それぞれを活かし、安心、安全で楽しくなる駅前～北大通となるよう、ハード、ソフト整備の探求が必要。

(釧路運輸支局 若杉委員)

- ・駅舎改札などの配置も考えつつ、JRとバス、タクシーをシームレスにつなぐことで、地域公共交通の利便性や使用頻度の向上に繋がると思います。

以上

■第6回 RINK釧路まちづくり交通戦略会議 名簿

(敬称略)

	所属	役職	氏名	備考
1 (進行)	北海道大学 大学院工学研究院土木工学部門	教授	高野 伸栄	釧路都心部まちづくり推進協議会 (準備会) 座長
2	法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科	教授	高見 公雄	釧路都心部まちづくり推進協議会 (準備会) 委員
3	北海道旅客鉄道 (株) 釧路支社	執行役員 釧路支社長	山田 浩司	
4	くしろバス (株)	参事	畑毛 正文	
5	阿寒バス (株)	営業本部長	須田 広伸	
6	釧根地区ハイヤー協会	事務局長	鎌田 浩宣	
7	釧路商工会議所 地域開発委員会	委員長	杉村 荘平	
8	釧路ビジネスサポートセンター k-biz	センター長	澄川 誠治	
9	釧路第一商店街振興組合		三島 基浩	
10	くしろ北大通商店街振興組合	理事長	佐藤 公一郎	
11	釧路末広仲見世通商店会	会長	岡野 公夫	
12	釧路駅前商店会	幹事	岡部 源三	
13	釧路駅西商店街振興組合	理事長	柿田 英樹	
14	釧路市共栄大通商店街振興組合	理事長	小林 嘉明	
15	若松町商店街	会長	佐藤 利夫	
16	釧路市商店街振興組合連合会	事務局長	小澤 謙次郎	
17	一般社団法人 釧根地区トラック協会	専務理事	野村 和人	
18	一般社団法人 釧路観光コンベンション協会	専務理事	山田 達也	
19	北海道開発局釧路開発建設部道路計画課	課長	大江 祐一	
20	北海道釧路建設管理部道路課	課長	三城 圭吾	
21	北海道運輸局釧路運輸支局	首席運輸企画専門官	若杉 貴志	
22	北海道警察釧路方面本部交通課	課長補佐	松浦 大史	
23	北海道釧路方面釧路警察署	交通第一課長	杉本 考一	
24	釧路市総合政策部都市経営課	課長	橋本 博恵	
25	釧路市総合政策部都市経営課	政策推進主幹	池田 利伸	
26	釧路市住宅都市部都市計画課	次長	松本 敦	
27	釧路市産業振興部商業労政課	課長	田北 剛	
28	釧路市産業振興部商業労政課	中心市街地活性化主幹	家次 保壽	
29	釧路市産業振興部観光振興室	室長	石田 貴志	
30	釧路市都市整備部道路河川課	課長	山口 透	
31	釧路市都市整備部公園緑地課	課長	田中 伸嗣	